

きのこグループ活動報告

小山 明人*

1 はじめに

きのこグループの目的は諏訪地方のキノコ相の解明と、併せて食毒だけではない科学的なキノコの理解と普及を目的としている。

諏訪地方のキノコ相調査は明治末期の川村清一 (Kawamura,1954) を始めとして、その後、大谷吉雄 (Otani et al.,1991)、吹春俊光 (Fukiharu et al.,2005)、種山裕一他 (Gelardi et al.,2015)、茅野市八ヶ岳総合博物館きのこグループによる紀要第 24 号,2016 により 14 科 18 属 32 種が記録されている。さらに、糟谷らは日本菌学会会報 57:31-45,2016 において諏訪郡富士見町産のキツムタケ、オオワライタケを記録したことから 15 科 19 属 34 種となった。

2 平成 28 年度の活動

グループは発足して 4 年目となりグループ員 18 名で活動を行った。昨年度同様午前は野外での観察、午後は博物館で顕微鏡的観察や標本作製、一部 DNA を採取した。

野外観察は吉田山にて 5 回実施し季節ごとの変化を理解した。

9 月は茅野市駅のベルビアにてきのこ展を開催し 2 日間で 170 人の来場者があった。

今年度の標本作成はキイロスツポインタケ、ツガマイタケ、ヒロヒダタケ、ミミブサタケ、ナガエノチャワンタケを含む 163 点、合計 233 点となった。また、176 点については燻蒸後標本庫に収蔵した。

3 活動の詳細

第 1 回 4 月 16 日 茅野市 吉田山

平成 28 年度第 1 回調査を行った。調査地以外も含めてコブシ由来のキンカクキンを含め 5 種を観察した。午後は博物館において採集品の顕微鏡観察を行い、全点標本とした。

第 2 回 5 月 21 日 茅野市 吉田山

第 2 回調査を行った。調査地ではカラマツの菌根菌であるハナイグチを記録した。その他 7 種を観察した。午後は博物館において顕微鏡観察、5 点を標本とした。

第 3 回 6 月 26 日 諏訪郡原村 広河原沢

有志によるツガマイタケ調査のため、観察コースの確認とツガマイタケの観察を行った。その他、ヒロメノトガリアミガサタケなど 13 種を観察した。午後は博物館において顕微鏡観察と呈色反応を行った。5 点を標本とした。

第 4 回 7 月 16 日 茅野市 吉田山

第 3 回調査を行った。ヒロヒダタケなど 6 種を観察した。午後は博物館において 24 点を標本とした。

第 5 回 8 月 20 日 茅野市 麦草峠

観察中はずっと雨だった。亜高山帯針葉樹由来のキノコも多くカラマツの菌根菌であるアミハナイグチ、チョウセンゴヨウの菌根菌であるベニハナイグチが観察できた。午後はグループ員の別荘で同定、32 点を標本とした。

第 6 回 9 月 9 日 茅野市 桜平

翌日のきのこ展に備えて亜高山帯での採集。午後は博物館において同定と準

* 菌類懇話会事務局長

備。合計 100 種以上だった。

第 7 回 9 月 10,11 日 茅野駅 ベルビア

茅野駅ベルビアにてきのこ展。写真 100 点、きのこは 158 種となった。2 回ほど展示解説を行った。11 日はきのこ 145 種。展示解説 2 回。持ち込まれたきのこの同定は 10 件だった。2 日間の来場者 170 人だった。

第 8 回 10 月 1 日 茅野市 吉田山

第 4 回調査を行った。調査地以外も含めて 35 種、ハツタケやシロヌメリイグチなどを観察した。午後は博物館において同定、19 点を標本とした。

第 9 回 11 月 5 日 茅野市 吉田山

第 5 回調査を行った。チャナメツムタケなど 13 種を観察した。午後は博物館において同定、6 点を標本とした。

第 10 回 12 月 17 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

4 月からのまとめとして各人が 1 人 5-10 分の時間の中で発表。14 人だったので午後までかかった。きのこ栽培やイチヤクソウの菌根観察など個人の興味分野の話が面白かった。

第 11 回 1 月 21 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前は紀要原稿の作成としてヒロヒダタケの線画を作成した。午後は活動発表展の打ち合わせと役割分担を決めた。

第 12 回 2 月 18 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前はグループ員による DNA の基本を講義してもらった。また、DNA によるキノコの同定手順と結果の講義を行った。午後は 3 月のイベントにむけての準備と使用済みプレパラートのガラス磨きを行った。

第 13 回 3 月 4 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

昨年度の気になるキノコ、新年度の記録目標。

第 14 回 3 月 20 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

活動発表展 3 年間の成果発表を行った。

4 来年度の活動

市民研究員も発足から 5 年目にあたることから以下を計画した。

- ① 吉田山のカラマツ林調査区域のキノコ調査は調査地とそれ以外を分けて記録する。
- ② 調査は野外での生態等の写真撮影、採集、マクロ・ミクロの記録、標本作成、場合により DNA 採取を行う。
- ③ 諏訪地方のきのこ相を理解するため、長野県の他地域（ブナ帯）での観察を行う。
- ④ 市民研究員の活動をより活性化するため、他団体との交流を図る。
- ⑤ 記録様式は神奈川県立生命の星・地球博物館の入生田菌類資料に準拠する。
- ⑥ 展示に適当な標本は大阪市立自然史博物館に引き続き協力を仰ぎ真空凍結乾燥標本とする。
- ⑦ 標本は原則茅野市八ヶ岳総合博物館に収蔵する。
- ⑧ キノコ展は諏訪地方のキノコ食中毒予防巡回展期間に先立ち実施する。
- ⑨ 講演会を行う。
- ⑩ 市民研究員認定者を中心に諏訪地方の菌類活動に協力する。

きのこグループ

荒野 民雄	市川 浩久
井村 悦子	上原 裕雄
上原 妙子	牛山 雄二
川崎建次郎	小林 智子
齊藤 雅光	齊藤 智子
清水千代江	遠山 俊祐
富澤 愛子	中島 年雄
平林 良典	藤崎 弘子
藤森 政明	水沼 昇
※小山 明人	

